

京都モノがたり— ②9

京都に歴史を刻み、洗練を極めてきた京の銘品の数々。伝統工芸にかくれた物語をご紹介します。

美しい光沢の北山丸太。左から2本が磨丸太、隣3本が天然絞丸太、その隣3本が人造絞丸太。少しずつ色が違うのは、経年によって倉庫内で変化したもの。丸太1本の長さは3~4mが主で、1本約20キロ。乾燥前は30~40キロある。

京都北山丸太

すくくとまっすぐで節が見えず、年輪が密に入っ
たきれいな真円。品の漂う光沢を帯び、つるりとし
た色白な木肌。「京都府の木」である北山杉から生ま
れる北山丸太は、京都の伝統工芸品の一つである。

北山杉は室町時代の応永年間（1394~1428）に作
り始められたといわれ、600年もの間、その技が受け
継がれ現代に残る。北山丸太は、古くより数寄屋建
築に好まれ、桂離宮や修学院離宮、大徳寺黄梅院の
茶室などに使われてきた。床柱にその存在感を發揮
し、年を経ると色が変化するのも味わい深い。

北山丸太は大きく分けて2種類ある。磨きかけた
磨丸太と、そこに絞といわれる風合いのある凹凸
が入った絞丸太だ。北山丸太といえば「絞丸太」と
いわれるほど象徴的だが、そもそもは突然変異で生
まれた天然絞丸太が人気で、伐採の2~3年前に箸
状の素材を巻き付けて育てて人工的に絞を付ける人
造絞丸太が造り出された。このほかに、軒先などに

使われる、細い小丸太の垂木は用途が広い。

手間を惜しまない育成と枝打ち

北山杉は、苗が育ち伐採するまで40~50年。当代
が植え伐採は孫の代とまでいわれるほど年月がかか
るのだが、その間の育成に手間と労力がかかっている。

親木から穂摘みした苗木を、苗床に挿し穂して2年。
発根のいいものを山に植林し、6~7年間は下草刈
りを行う。このころから、良質な北山杉に欠かせな
い枝打ち作業を行う。枝打ちは、鉋や鎌で枝を切り
落とすのだが、植林して6~7年後から始め、3~4
年に一度行う。枝打ちにより光合成ができなくなる
ことで木を細長く育て、割れにくくするのだ。枝打
ちを行う間隔は、土壌や日当たりによって前後する。

伐採前年になると枝締めをして成長を止め、秋か
ら冬に伐採し、そのまま山で葉枯らし乾燥をさせれ
ばよいよ搬出。樹皮を剥けば、つるりとした美し



枝打ちは、枝の付け根を幹に沿って切り落とすことで、節跡を残さないようにする。



垂木は軒先のほかに手すりなどの需要がある。



保管しておいた丸太は徐々に飴色になる。必要に応じて出荷直前に薄い過酸化水素水で色を整え、乾燥させる。白さと濃度の加減は、長年の勘によって決まる。



山に残った北山杉の根元の部分。林業家に持ち帰ってもらい、平行に切って花台などとして販売する。

中基銘木が作る木工品。手前のマッサージ棒と飲み比べセットが北山杉、コーヒードリップスタンドとミニスタンドハンガーは北山産檜。



左から鎌、鉋、木槌。木槌は乾燥を早めたいときに背割りにクサビを打ち込むときに使う。



い木肌がお目見えする。以前の皮剥きは手作業だったが、現在は高圧洗浄機で行うのが主流。表面の干割れを防ぐために、背割りといわれる切れ目を一直線に入れば、天日干し、人工乾燥を経て市場へ並ぶ。

北山丸太の目指すもの

住まいの変化によって、数寄屋建築はもとより床柱に使われる北山丸太の需要は年々減っている。往時に比べ、北山杉の生産量や流通量、林業家も減ったと語るのは、北山丸太や北山産檜の卸業を営む中基銘木の中西一喜氏だ。近年の温暖化、天候不安が林業を直撃し、何十年と育てた北山杉が伐採時期を前に倒れてしまうなど、自然災害が起きていることも一因である。昔はヘリコプターで運び出していた雑木類や細い磨き丸太も、人手や費用の問題もあってなかなか思うようにいかないが、ドローンを駆使して運び出すなど、伝統の北山杉を皆で守っている。

北山杉の流通量が減ったことは、マイナス面ばかりではない。中西氏は北山杉に加え、檜などさまざまな木を扱うようになり、北山杉の良さを改めて感じたと熱く語る。「杉は触るとやわらかく、ほかにはないぬくもりをみなさんに知ってもらいたい」。月に一度開催する「北山杉の里マルシェ」では実行委員を務め、北山杉の里「中川」の様子を話し、北山杉の小物などを販売して木の魅力を発信。中西氏だけでなく、多くの人がいま、北山丸太の魅力の再発信や端材の活用を考え動き始めている。

「まっすぐで美しい北山丸太は、もちろんすばらしいですが、端材や根元の部分をうまく活用するなど、視点を変えて発信していくことも大事だと思います。伝統に新しい風を入れていきたい」

卸業、生産者の歩みの先に、北山丸太の新しい年輪が刻まれるに違いない。

(取材協力：中基銘木) <https://www.kitayamamaruta.net>